

大阪経済記者クラブ会員各位

(同時資料配布：金沢・富山・福井・京都・神戸の各経済記者クラブ、大津市政記者クラブ)

北陸・関西連携会議 第11回会頭会合 「北陸新幹線の早期全線開業の実現に向けた決議」の採択について ～令和6年能登半島地震からの復旧・復興を後押し～

〔お問合せ〕大阪商工会議所 地域振興部(土田、高田)
TEL:06-6944-6323
携帯(当日2月7日のみ):070-7817-3111

○金沢・富山・福井・京都・神戸・大阪の7商工会議所は、本日、神戸市内（神戸ポートピアホテル）で開催した「北陸・関西連携会議 第11回会頭会合」において、「北陸新幹線の早期全線開業の実現に向けた決議」を採択した。

○同決議では、北陸新幹線の金沢～敦賀間開業を契機に、北陸と関西の広域周遊観光やビジネス交流の促進によって令和6年度能登半島地震からの復旧・復興を後押しすること、また、北陸新幹線の開業効果を最大限に発揮すべく、敦賀～大阪間に一日も早く着工し、大阪までの早期全線開業を実現するため、7商工会議所の総意として、以下5点を取りまとめ、政府等関係機関に実現を求めている。

- ①令和6年能登半島地震からの復旧・復興 ②敦賀～大阪間の一日も早い着工
③財源確保および着工に向けた環境整備 ④敦賀開業後の利用者の利便性確保
⑤関西の自治体のリーダーシップ発揮

○同会議は、北陸新幹線の長野～金沢間開業に際して、京都・神戸・大阪の3商工会議所から働きかけて2015年7月に設置。北陸・関西の一層の連携強化や、北陸新幹線の早期整備に向け、意見交換や共同アピール・決議の採択等を行ってきた。

1. 開催概要

【日時】 2024年2月7日（水）12:30～14:10

【場所】 神戸ポートピアホテル本館 地下1階「布引・北野」（神戸市中央区港島中町6丁目10-1）

【次第】 ①開会挨拶、開催地挨拶

②代表幹事の選任について

③令和6年能登半島地震からの復旧、復興について

④北陸・関西連携事業の進捗報告

⑤北陸新幹線の早期全線開業の実現に向けた決議（案）について

⑥講演「北陸新幹線の状況とその意義について」

<講師>国土交通省 鉄道局次長 平嶋 隆司 氏

⑦意見交換

⑧閉会挨拶

以上

<添付資料>

- ・(資料1) 北陸新幹線の早期全線開業の実現に向けた決議
- ・(資料2) 北陸・関西連携会議 第11回会頭会合 出席者名簿
- ・(資料3) 北陸・関西連携会議 概要

北陸新幹線の早期全線開業の実現に向けた決議

金沢・富山・福井・京都・神戸・大津・大阪の7商工会議所は、北陸と関西の経済交流を推進するため、会議所会頭による「北陸・関西連携会議」を設置し、ビジネス交流や事業相互参加を積み重ねている。

北陸新幹線は、首都圏、北陸圏および関西圏をつなぐ重要な交通網であり、国土強靱化の観点からは、南海トラフ地震をはじめ、大規模災害時における東海道新幹線、リニア中央新幹線の代替補完機能（リダンダンシー）を果たすものである。また、北陸新幹線の全線開業に伴う交流人口の増加は、全国で1,910万人、うち関西では1,650万人の増加との試算もあり、その整備効果や波及効果が極めて大きく、日本経済の更なる成長に寄与することから、優先的な整備が必要である。

しかしながら、北陸新幹線の最後の未着工区間である敦賀～大阪間は、2017年3月に概略ルートが決まり、2019年5月より環境アセスメントの手続きが開始されているが、未だ整備に必要な財源確保のめどが立っていない。2046年が想定される全線開業まで、今後四半世紀の年数を要することから、全線開業に伴う波及効果が低減するとともに、長期にわたり東京一極集中を助長し、政府が目指す分散型国づくり＝デジタル田園都市国家構想の実現の障害にもなりかねない。

北陸新幹線の整備効果を最大限に生かすには、一日も早い敦賀～大阪間の着工と大阪までフル規格で全線開業させることが必要である。ここに、7商工会議所の総意として、次の事項について決議する。

記

1. 令和6年能登半島地震からの復旧・復興

北陸新幹線の金沢～敦賀間開業を契機に、北陸と関西の商工会議所は一層の連携強化のうえ、商工会議所のネットワークを活用した情報発信等人流回復や北陸地域の風評被害払拭等に取り組み、広域周遊観光やビジネス交流を促進することで、令和6年能登半島地震からの復旧・復興を後押しする。

2. 敦賀～大阪間の一日も早い着工

北陸新幹線の開業効果を最大限に発揮するには、大阪までの早期全線開業が不可欠である。そのためには、着工5条件を早期に解決して一日も早く着工し、大阪までのフル規格による全線開業を実現すること。

3. 財源確保および着工に向けた環境整備

「北陸新幹線事業推進調査」について、施工上の課題を解決するなどにより、全線開業までの期間を最大限短縮すること。また、全線開業に向け必要な財源を早急に確保するとともに、環境アセスメントを丁寧かつ迅速に進め、速やかに駅・ルートの詳細を固めること。

4. 敦賀開業後の利用者の利便性確保

北陸新幹線の金沢～敦賀間開業後、全線開業までの間、敦賀駅で特急と北陸新幹線との乗り換えが円滑にできるよう、十分に利用者の利便性を確保すること。

5. 関西の自治体のリーダーシップ発揮

今後着工される路線の多くが位置する関西の自治体がリーダーシップを発揮して沿線の自治体や経済団体等の連携を図り、早期全線開業に向けた活動を強化すること。また、商工会議所としても活動の強化に積極的に協力すること。

2024年2月7日

北陸・関西連携会議

代表幹事	福井商工会議所	会頭	八木 誠一郎
代表幹事	大阪商工会議所	会頭	鳥井 信吾
	金沢商工会議所	会頭	安宅 建樹
	富山商工会議所	会頭	庵 栄伸
	京都商工会議所	会頭	塚本 能交
	神戸商工会議所	会頭	川崎 博也
	大津商工会議所	会頭	河本 英典

北陸・関西連携会議 第11回会頭会合 出席者名簿

日 時：2024年2月7日（水）12：30～14：10

場 所：神戸ポートピアホテル本館 地下1階「布引・北野」

(敬称略・順不同)

【講師】

国土交通省 鉄道局次長 平嶋 隆司

【メンバー】

金沢商工会議所	会 頭	安宅 建樹	(株式会社北國銀行相談役)
	専務理事	普赤 清幸	
富山商工会議所	会 頭	庵 栄伸	(株式会社北陸銀行代表取締役会長)
	専務理事	上田 祐正	
福井商工会議所	会 頭	八木 誠一郎	(フクビ化学工業株式会社代表取締役社長)
	専務理事	嶋田 浩昌	
神戸商工会議所	会 頭	川崎 博也	(株式会社神戸製鋼所特任顧問)
	専務理事	楠山 泰司	
大津商工会議所	副 会 頭	杉野 善彦	(株式会社井筒八ツ橋本舗代表取締役社長)
	専務理事	廣瀬 年昭	
大阪商工会議所	会 頭	鳥井 信吾	(サントリーホールディングス株式会社 代表取締役副会長)
	専務理事	井内 撰男	

※京都商工会議所 塚本能交会頭、兒島宏尚専務理事は欠席。

【オブザーバー】

西日本旅客鉄道株式会社 代表取締役副社長兼執行役員 倉坂 昇治

以 上

北陸・関西連携会議 概要

1. 設立趣旨

- 北陸と関西は、豊富な地域資源を有し、人的交流も盛んである。しかし、リニア中央新幹線の東京―名古屋間先行着工、北陸新幹線の敦賀延伸といった動きを踏まえれば、今、北陸・関西両地域が連携し、観光客増大やビジネス交流の促進に取り組むことは、地方創生の模範例を示すことになる。
- そこで、北陸・関西の商工会議所が連携して、観光振興はもとより、幅広いビジネス交流事業を実施するとともに、そのために必要な北陸新幹線の大阪延伸の早期実現策等を検討し、必要に応じて、共同提言の取りまとめ等を行う。

2. 設置日

2015年7月17日

3. 組織概要

- 金沢・富山・福井・京都・神戸・大津・大阪の7商工会議所
※大津商工会議所は、2015年12月の第2回会合から参加
 - 事務局：大阪商工会議所
 - 必要に応じ、両地域の他の商工会議所にも呼び掛ける
- 会頭による会合を開催し、北陸・関西の連携を促進する。
- 専務理事による会合を開催し、必要事項を決定する。
- 各種連携事業を具体化する際には、事務局担当者による会合を適宜開催する。
- 必要に応じ、西日本旅客鉄道株式会社の「関西・北陸交流会」とも連携する。

4. 開催実績

2015年	7月17日	発足
	9月2日	会頭会合（第1回：金沢）
	9月16日	専務理事会合
	11月19日	専務理事会合
	12月21日	会頭会合（第2回：福井）
2016年	2月18日	専務理事会合
	4月25日	会頭会合（第3回：神戸）
	10月24日	会頭会合（第4回：富山）
2017年	5月30日	会頭会合（第5回：京都）
	12月13日	専務理事会合
2018年	4月18日	専務理事会合
	5月9日	会頭会合（第6回：大阪）
2019年	9月18日	専務理事会合
	10月4日	会頭会合（第7回：大津）
2020年	11月13日	専務理事会合
	12月4日	会頭会合（第8回：オンライン）
2021年	11月17日	専務理事会合
	11月30日	会頭会合（第9回：金沢）
2022年	8月29日	専務理事会合
	9月8日	会頭会合（第10回：大阪）
2024年	1月31日	専務理事会合
	2月7日	会頭会合（第11回：神戸）

5. 申し合わせ（第1回会頭会合〔2015年9月2日〕にて採択）

北陸・関西の一層の連携強化に向けた申し合わせ ～北陸・関西は地方創生の先導役に～

地方創生が大きな政策課題となる中、我々6商工会議所会頭は、本日の「北陸・関西連携会議」において、両地域一体となった力強い成長実現に向け、一層緊密に連携することで合意した。

まずは、下記の観光振興、インフラ整備、ビジネス交流事業に精力的に取り組んでいくことを申し合わせる。

記

1. 国内外からの観光客増大を一過性に終わらせることなく、さらに北陸・関西への誘客を図るため、広域観光周遊ルートの形成など多様な観光魅力の発掘や相互プロモーションを強化する。
2. 北陸・関西の成長力を高める重要な基幹インフラである北陸新幹線に関し、国や地方自治体等と連携しながら大阪延伸の早期実現を図る。
3. 地方創生の担い手である中小企業の販路開拓、新商品・サービスの開発など、業容拡大を強力にバックアップする。このため、域内企業間のビジネスマッチングに注力する。
4. 市場規模の拡大が期待される新しい産業分野への円滑な参入など、中小企業の成長力強化に向けた支援策を拡充する。このため、各種情報提供に一層力を入れるとともに、域内の企業間連携をサポートする。

以 上